



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1980号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2043回例会

2014.10.2晴
於:米山記念館

司 会

古川喜仁君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 三田明宏君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは、今月は米山・社会奉仕月間です。よって、第一例会場を米山梅吉記念館に変更しましたので、ご了承願います。

さて話のはじめに、御嶽山で犠牲になった方々へのご冥福を祈りたいと思います。いったい何故このような戦後最大の惨事になったのでしょうか。古来この御嶽山は山岳信仰の聖地で日本三霊山の一つに数えられています。最近は、ロープウェイや自動車で七合目まで登れ、日帰りも可能な登山(剣が峰まで3時間で登頂)とのPRにより、登山者が増えました。噴火当日、天候に恵まれた週末には紅葉を目当てに多くの登山者が訪れ、ロープウェイは朝から600人もの利用客があったとのこと。登山がレジャー化した昨今、山ガールと呼ばれる女性登山者も増え、まさに観光地なみに気楽にできるハイキングと考える人が多くなったのでしょう。そして、悲劇は起きました。私達が学校で教わったときは、阿蘇山や浅間山は活火山、富士山は休火山、御嶽山と箱根の山は死火山でした。しかし1979年の御嶽山の噴火などにより、現在こういう区分は廃止され、過去1万年以内に噴火した全ての山を活火山としたそうです。それゆえ、御嶽山は活火山として観測されている山だったはずですが、予報・警告も出て無いのに、何故このような大惨事になったのかが理解できません。一方、前述の定義では、私達の身近な富士山も活火山と言うこととなります。よく笑い話で聞きますが、ハイヒールや軽装で富士山に登ろうとした人がいたのも、レジャー化された登山の現状なのでしょう。いずれにしろ、古代から火山としての恐れや信仰・修行の場所として崇拝してきた霊山への、様々な立場の人達の認識不足が、今後は問われることでしょう。

さて話を米山月間に戻しますが、このあとロータリー財団米山委員長から卓話者シノハラ・シャオフェイ様の紹介がありますので、宜しくお願いしまして本日の会長挨拶とさせていただきます。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 篠原暁恵さん(米山記念学友会副会長)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	38/45	84.44%	44/45	97.78%
今回	35/41	85.37%	会員総数	50名

欠席者 窪田君、登崎君、長田君、花房君、前田(房)君、柳田君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日は、米山月間のクラブフォーラム。米山学友会副会長の篠原シャオ・フェイさんの卓話。
- ②10月の予定。
9日(木)夜間例会、卓話:野田さん
19日(日)例会日・例会場変更 見晴フェスタ2014 10:00開会点鐘
23日(木)職業奉仕月間クラブフォーラム
30日(木)特別休会
- ③高野バスターガバナーのお父様ご逝去。お別れの会は11月11日(火)14:00から甲府富士屋ホテルにて。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

理事会

〈報告事項〉

- ①苗栗の記念式典は3月21日(土)。これに合わせて中学生派遣事業の組み立て中。
- ②11月15日(土)、16日(日)浜松にて地区大会。理事役員・新入会員中心に出席予定。参加希望者があれば幹事の千葉まで。
- ③地区大会の選挙人を理事会で会長・幹事に決定。
- ④グランドワーク三島より署名・募金の依頼。三島梅花藻の里・湧水地の保全・買取のための緑のトラスト運動。次週以降の例会で。
- ⑤10月18日(土)14:00~16:00、見晴フェスタの準備お手伝いのお願い。北上文化プラザにて。メイクアップ扱い。ミセス・ロータリーにも協力依頼。

卓 話

米山月間によせて

米山記念学友会副会長
篠原暁恵さん

ただいまご紹介いただいた篠原と申します。私は台湾台北の出身であります。台湾の教育制度は日本と同じように義務教育は小学校6年、中学校3年で、その後受験をし、3年の高校と5年の高校専門学校があります。私は5人兄弟の長女で、当時台湾で初めての9年制の義務教育第1期卒業生でもあり、高校受験の成績は学校の評価にも関わりました。そのため、中3の1年間は受験勉強に専念しました。普通高校を選択すれば、3年後に大学受験が控えており、つらい勉強と大嫌いな受験が待っているのです、それがいやで楽な5年制専門学校を選びました。当時、父の仕事が設備設計施工事務所の共同経営者であり、その影響を受け絵を描くことが好きな理由で建築設計を選びました。

専門学校を卒業して、建築設計事務所で働き5年目の時、父が日本を企業視察するために私も同行することができました。初めての外国で、高層ビル・新幹線・地下鉄・ディズニーランドを目にして、今でも驚きと感激を憶えています。帰国後、是非日本で勉強したいと父に話しました。その時、父が日本で勉強したことを知りました。そのこともありスムーズに留学することができ1年間日本語を勉強して、千葉県にある日本大学生産工学部建築工学科専攻に入学しました。大学4年を勉学に専念し、大学院に進学することになったときに父が急死したため、米山記念奨学金を応募することになりました。

私が奨学生になった1985年の時代は1ドル360円で、母国からの送金で学生生活をするのは母親にとっても重い負担をかけました。当時の台湾のロータリークラブは名誉があり、地位の高いお金持ちの集まりの団体の一つで、我々一般人と縁のない団体でもありました。その団体の奨学金を受けるこ

とができる人はとても名誉あることと、また尊敬されることは知っていました。

当時奨学金を受け取るために、毎月例会に出席し、自分の研究についてレポートを提出して近況報告しました。今回の卓話は、その時のことが思い出されます。私の世話をいただいた千葉船橋西RCはアクトの活動もさかんで、日本の若者たちとの交流もできました。2年間の奨学生生活で、私は日本の伝統行事を体験し、文化について学ぶことができました。またRCのさまざまな奉仕活動を通じて国際親善や社会貢献などを行う団体であることを知ることができました。奨学生として貴重な経験を得ることで無事に日本の会社に就職もでき、日本人の主人と結婚して、企業の社宅生活、地域での生活に溶け込むことにも役にたちました。

台湾のことわざに「水を飲めば、その源を想う」「人の恩を受ければ、10倍恩返し」とあり、その時、機会があれば自分ができる範囲で社会貢献することを誓いました。歳月が流れ、平成5年娘を出産し、主人の転勤とともに三島に定住し、主人の案内で米山記念館を見つけた時の興奮は今でも忘れません。

平成16年学友会創立のお知らせが届きました。総会に出席し資料を見てびっくりしました。なんと私の名前が一番であり、いつのまにか私は最年長になっていたのです。光陰矢の如し！ 歳月人を待たず！ 日本に留学して早くも34年になり、故郷にいる時間より日本の生活の方が長くなりました。子育てが一段落する中で学友会から役員の職を依頼されたときに、今こそ私が恩返しするときでもあり、微力ながらお手伝いさせていただいています。

第2620地区米山記念学友会について

2008~09年度の三島RCの小野毅委員長により、その年青森の第2830地区に学友会が結成されたニュースを知り、米山梅吉翁のお膝元の地域が最後の地区になる危機感の中で、2009年3月(牧田ガバナー)創立されました。

創立以来毎年地区大会の会場で、お国自慢のコーナーを設けてお茶のサービスを行いました。また、米山記念奨学委員会の業務を補助させてもらっています。今年度は創立5周年の文集を作成しました。また、11月山梨県で日本文化について勉強、奉仕活動とロータリアンとの親睦交流合宿会を企画しております。

こうして台湾・中国・インドネシアなど12か国の学友が在籍中です。帰国者を除いて現在第2620地区は合計88名の学友で、現役奨学生は19名が在籍中です。

これからもRCの皆様のご指導をいただき、益々の発展とさらなる交流の機会と社会貢献をしてゆくことに期待したいと思います。

最後に、皆様にお伝えしたいのは、いま私がここにいるのは、すべて米山記念奨学金のおかげであることです。米山記念奨学金は皆様のご寄付であったことに、この場をお借りして心から感謝申し上げます。また引き続きのご寄付をお願い申し上げます。

(週報担当:瀬川幸信)